

令和8年 1月

お客さま各位

島原 G エナジー株式会社

給湯器の凍結防止について

日頃より弊社のガスをご使用いただきまして誠にありがとうございます。

給湯機器は気温が下がると安全装置が自動的に作動し機器の凍結を防止しますが、接続されている配管までは凍結を防止できません。

ご参考として、ガス給湯器の給水・給湯・追いだきふろ配管等の凍結予防方法と対処方法をお知らせします。

1. お湯の給湯栓（蛇口）から水を出し続ける

①リモコンの運転スイッチ（電源）を「切」にします。

②お湯の給湯栓（蛇口）を開き、少量の水を流したままにしておきます。お湯を出す給湯栓（蛇口）であれば、お風呂、台所、洗面所どこでも大丈夫です。

いずれか1ヵ所をあけてください。

2. 浴槽に残り湯を残したままにしておく（追いだき付ふろがまの場合）

①浴槽の循環アダプター上部より5cm以上、残り湯（お水）がある状態にしておきます。

ポンプが自動的に浴槽の水を循環させて凍結を予防します。

※凍結予防運転時は燃焼しません。

※浴槽に水がないとポンプが空運転し機器から大きな音が発生する場合があります。

※リモコンの運転スイッチ（電源）は「入」でも「切」でもかまいません。

3. 給水・給湯配管の保温

配管の凍結を予防するために給湯機器の配管には保温材を巻くなど配管保護の処置をお勧めします。

【重要】配管が凍結した場合

お湯側の給湯栓をいっばいに開いても何も出て来ない、ポタポタとしか出て来ない場合は、給水配管が凍結していることが考えられます。

自然に溶けるのをお待ちいただくか、凍った部分にタオルや布を巻き、その上からゆっくりとぬるま湯をかけて解凍してください。

ご不明な点がございましたら、弊社までご連絡ください。

TEL : 0957-63-1313

受付時間：月曜日～金曜日 9：00～17：45（土・日・祝日除く）